

第9回東北連合会学術集会

代表世話人：東北労災病院院長 三浦幸雄



会場風景

去る2009年10月3日(土)、第9回東北連合会学術集会が、代表世話人の東北労災病院院長三浦幸雄先生のもと、宮城県仙台市・東北大学医学部同窓会館(長陵会館)にて開催

されました。

参加者は160名ほどで、ワークショップ2題、ランチオンセミナー1題のほか、25の一般演題が発表されました。

特別講演は、「医療崩壊から地域医療を再生させる：マグネットホスピタル構想」と題して東北大学前地域医療システム学教授 伊藤恒敏先生より、「日本の医療：現状と課題」と題して社会保険中央総合病院名誉院長 斉藤寿一先生より、それぞれ御講演をいただきました。

代表世話人の三浦先生はじめ事務局を担当された東北労災病院スタッフの方々、ご協力下さった皆様、ありがとうございました。

宮城県から始まった東北連合会学術集会も、六県全てで開催され、今回で2巡目となりました。今後も尚一層の会の拡大と充実に、皆様のご協力をお願い致します。

(文責：国立病院機構仙台医療センター名誉院長 櫻井芳明)

第5回岡山支部学術集会

学術集会会長：川崎医科大学附属川崎病院院長 坂手行義

2009年10月3日(土)、第5回岡山支部学術集会を岡山国際交流センターで開催、関係者を含めて315人が参加しました。

今回は「医療連携のあるべき姿を目指して」をテーマに、特別講演、シンポジウム2題、一般演題(口演)、ポスター発表、クリティカルパス展示を行いました。

特別講演では、NTT東日本関東病院病院長の落合慈之先生に「これからの医療に夢を」というテーマでご講演いただきました。医療従事者と患者さんとの信頼関係を深める様々な取り組みについてお話があり、参加者一同熱心に耳を傾けていました。

シンポジウムIは岡山の医療連携の現状と課題について、理想と現実の狭間で懸命に取り組んでいる実態の報告がありました。シンポジウムIIは今話題の「新型インフルエンザ」に対する今回の対応と今後の対策について各施設の代表から報告、今後の対策について熱心に討議が行われました。

今回から年2回の開催となり、岡山支部学術集会のさら

なる充実に向けて様々な取り組みを推進していくことが決意されました。

(文責：川崎医科大学附属川崎病院人材開発室長 深田慧)

第3回三重支部学術集会

学術集会会長：医療法人同心会遠山病院院長 竹内敏明



会場風景

2009年10月11日(日)、アスト津、アストホールにて日本医療マネジメント学会第3回三重支部学術集会が開催されました。

開催当日は津まつりにあたり、津の街全体が祭りで盛り上がるなか県内の医療機関を中心に128名が参加して盛況な支部学術集会となりました。

今回は「医療をとりまく人と人の連携の在り方」をメインテーマに一般演題で16題の応募があり活発な討論が行われました。

特別講演では日本医療マネジメント学会副理事長の坂本すが先生が「医療職の役割分担とチーム医療」と題して主に医療チーム内の看護師の役割について最新の話題を交えてわかりやすくお話していただきました。フロアからは看護師の本質的な役割や専門性に関する質問があり参加者の多くが坂本先生のお話に勇気付けられたようで好評のうちに三重支部学術集会を終えることができました。

今後も学会活動の活性化のために県内における医療従事者や医療機関への啓蒙を続けてゆく所存です。

(文責：国立病院機構三重中央医療センター

医療情報室長・小児科医長 田中滋己)

第10回茨城県支部学術集会

学術集会会長：筑波記念病院副院長 松島照彦



会場風景

2009年11月7日(土)、茨城県つくば市、つくば国際会議場(エポカルつくば)において478名の参加を得て開催されました。

「高齢者医療の課題と展望」をテーマとし、特別企画として元厚生労働大臣

丹羽雄哉先生から特別講演「これからの医療介護の課題とあり方について」の題で医療介護の提供体制と負担の仕方のお話、また、NHP栄養学研究所所長 落合敏先生から教育講演「高齢者の栄養管理～アンチエイジングを踏まえて」の題で高齢者の栄養特性と具体的な栄養のノウハウをお話し頂きました。

(次頁へ)